

Y20a 大妻女子大学での宇宙に関する企画展の開催

下井倉ともみ, 木村羽菜, 永田千穂里, 松尾英里子, 宮川菜, 友山愛沙, 浜野璃桜 (大妻女子大学)

2020年に、「はやぶさ2」が二度のタッチダウンを経て小惑星リュウグウから地球へサンプルを持ち帰ったことは、大きな話題となった。我々はJAXA宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクトの実施したキャンペーンに応募し、サンプルのレプリカを貰い受けることができた。そこで、このレプリカをメインの展示とした企画展を大妻女子大学にて開催した。科学（宇宙）をテーマとした企画展の開催は本学では初めてであった。

企画展は、本学図書館1階の受付横に展示スペースをもうけて開催した。レプリカ以外に太陽系やはやぶさ2の軌道などについて模型を制作し、立体的な展示物を多く配置した。企画展の立案・計画・実施には本学の宇宙ゼミに属する学生が参加した。また、展示期間中は、これらの学生が学生・教職員を対象に解説しながら展示案内を行った。企画展は3週間開催し、合計で300人以上の見学があった。見学者に対して展示に関するアンケート調査を企画展の見学前後で実施し、各100程度の回答を得た。見学前には、「小惑星は太陽系のどこに位置するか？」等の小惑星や太陽系に関する知識を尋ね、その結果はどの質問についても半数以上が「分からない」であった。見学後に実施した同じ質問項目については7割以上が正解となった。このことから、企画展開催により一定の教育効果が得られたと考えられる。本学には理工系学部は設置されていない。また、理系科目へ苦手意識を持つ学生が多い。本講演では、そのような学生を対象に実施した本企画展の成果を報告する。